

第2回 江南市都市計画マスタープラン等策定協議会 議事録

日 時 平成29年12月26日(火) 午前10時00分～午後12時00分

場 所 江南市役所 第3委員会室

出席者 15名※代理出席を含む

委員

役職	氏名	備考	出欠	代理出席者名
会長	加藤 幸治	第6次江南市総合計画市民会議 第1文科会 会長	出席	
副会長	杉浦 賢二	江南商工会議所 副会頭	出席	
委員	伊藤 由香	愛知県江南短期大学学長	出席	
委員	平林 野江	元江南市教育委員会委員	出席	
委員	小川 隆史	愛知北農業協働組合 常務理事	出席	
委員	近藤 博之	名鉄バス株式会社 取締役	出席	
委員	靱山 光正	フラワーパーク江南友の会 会長	出席	
委員	伊神 卓	草井地区 代表区長	出席	
委員	澤野 康樹	古知野区 区長	出席	
委員	牧田 二郎	宮田地区 代表区長	出席	
委員	三ツ口 和男	布袋区 区長	出席	
委員	八田 陽一	愛知県建設部都市計画課 課長	代理出席	愛知県建設部都市計画課 主幹 片山 貴視
委員	桜井 種生	愛知県建設部公園緑地課 課長	代理出席	愛知県建設部公園緑地課 課長補佐 鷺見 純良
委員	水野 悦司	愛知県一宮建設事務所 企画調整監	出席	

※愛知県職員以外は区分ごとに五十音順に表記

オブザーバー

氏名	備考	出欠	代理出席者名
菅原 賢	国土交通省中部地方整備局 建政部 都市調整官	出席	

◆会議内容

1. 会長あいさつ
2. オブザーバーあいさつ
3. 議題
 - (1) 市民意向調査結果について
 - (2) 現況調査結果及び課題について
4. その他

【配布資料】

- 資料1 市民意向調査結果の概要
- 資料2 現況調査結果及び課題の概要
- 参考資料1 市民意向調査結果について
- 参考資料2 現況調査結果【都市計画マスタープラン、立地適正化計画、緑の基本計画】
- 参考資料3 資料2「2-4 現行計画の検証結果のまとめ」に関する主な取り組み状況図
- 参考資料4 年度別策定の流れ
- 参考資料5 江南市都市計画マスタープラン等策定協議会委員名簿

◆会議結果

1. 会長あいさつ

- ・会議に先立ちあいさつを行った。

2. オブザーバーあいさつ

- ・オブザーバーである中部地方整備局都市調整官からあいさつをいただいた。

3. 議題

(1) 市民意向調査結果について

- ・事務局より、市民意向調査結果の概要について説明を行った。

委員	戸建て中心の静かなまちを望む回答が約2割と高くなっているということですが、何かと比較をされて高くなっているというような言葉を使っているのですか。
事務局	食料品、日用品等の店舗を望む回答が約40%で一番多いですが、回答項目の中で同じように20%以上で高い割合を占めているので、このような記載としています。
委員	年齢についての項目ですが、回答者数の比率と江南市全体の人口構成との整合性は、確認していますか。
事務局	今回の意向調査につきましては、年齢ごとの比率が同程度となるようにお送りする方を抽出しています。
委員	50歳以上の回答者の割合が高く、高齢者目線の回答が大半を占めていると思われます。これからの時代を背負っていく若い人たちの目線も大事にしなければいけないと思います。 年齢構成別に解析はしなかったのですか。

事務局	今後、年齢別でどのような傾向があるのかを分析したいと思っています。分析の結果については、改めてお示ししたいと思います。
会長	年齢別のポイントでグラフができると思いますので、今後示していくことを検討してください。
委員	戸建て中心という言葉ですが、どのような観点で出てきたのですか。戸建て中心であったら静かなまちができ、集合住宅中心だったら静かなまちはできないのかという見方もできてしまいます。
事務局	戸建ての住宅が並ぶことで低層なまちになるといった意味などがありました。少し極端な表現になってしまったと思います。
委員	高齢でひとり暮らしができなくなった場合や介護や通院が必要になった場合には住み替える可能性があるという回答が多いですが、今のバスや電車などの交通機関の近さなど、地区の状況を踏まえた小学校区別ではどのような回答になっていますか。地区ごとに顕著な傾向は見られますか。
事務局	本日は小学校区別の集計結果まではお出しできませんが、地区別の構想を検討する際に、地区ごとに高かった意向をどのようにまちづくりの方針の中に盛り込んでいくか検討する上で参考にします。
委員	これは要望になりますが、江南市には宿泊施設が無いという状況の中で、質問項目には宿泊施設に係る項目は1つありません。居住者に対するアンケートということですので、居住者にとっては泊まる必要もないので出てこないと思いますが、非居住者の考え方、目線での見方も必要ではないかと思っています。

(2) 現況調査結果及び課題について

- ・事務局より、現況調査結果及び課題の概要についての説明を行った。

委員	農用地区域が著しく減少しているとありますが、どのような特徴でこのような現象が起きているのか教えてください。
事務局	地区ごとの資料は今回ご用意できていませんが、全体的に生産緑地を含め農地が減っている状況と、市民意向調査結果にて今後の農地をどうするかという質問に対し、やめていく・やめたいとの意向も多いことを踏まえ、このような表現としています。
委員	北部や南部などで偏りはあるのですか。
事務局	地区別の分析まではまだ実施していません。
委員	土地利用で約35haの未利用地が市街化区域内に分布しているとありますが、これを市としてどのようにしていきたいと考えていますか。

	<p>また、フラワーパークの観光客が100万人以上と増えている中で、観光に力を入れると記載がありますが、フラワーパークの入場者は観光客として捉えるのでしょうか。</p>
事務局	<p>約35haの未利用地、農地が市街化区域内に分布しているという記載ですが、立地適正化計画を策定する中で居住誘導区域という考え方があります。中心の拠点に、なるべく緩やかに居住地を誘導していく施策を今後考えていきます。中心拠点の周辺にある低未利用地については、住宅などの用途の土地利用を考えております。</p> <p>なお、今年に入り、市街地の中の身近な緑や火災時の延焼を防ぐ場所として、農地を重視していく必要があるとした都市緑地法の改正がありました。これらの考え方も検討に入れながら、今後この未利用地の土地利用を検討していきたいと思っております。</p>
事務局	<p>フラワーパークの入園者数につきまして国土交通省からいただいた資料では平成27年度、28年度は年間100万人を超える方が来園されています。市外からもたくさん利用されているということで、この検討では観光客として整理しています。</p>
委員	<p>農用地を維持したいのか、それとも農用地を公園に転用したいのか、市としてどのような方向で考えたいのですか。</p>
事務局	<p>法改正はありましたが、今回はこういった課題や特性があるということ整理しましたので、方向性については今後また示していきたいと思っております。</p>
委員	<p>都市型の公園を整備していくという方針を、今後も続けて持っていくのか、防災目的で緑地ゾーンを作っていくのかなど、違う目的の方針も必要になると思っております。</p> <p>大きな施設やベンチ、遊具がある公園が本当に望まれているのか、もう一度精査してほしいと思っております。</p>
事務局	<p>規模の小さい都市公園の面積は2,500㎡程度あることが望ましいとされています。市街化区域で公園が少ない状況に対しては、もう少し小さい1,000㎡程度の公園で、生産緑地なども活用して整備できないかと考えています。</p>
会長	<p>小さい公園がどれだけあるかということは、地域別構想の方でも取り上げてほしいです。</p> <p>また、地域別構想を検討していく時に、これからの高齢化や人口減少の中で、各地域の中に日常での店舗がどれだけあるかなども整理してほしいと思っております。</p>
委員	<p>都市基盤に関する特性で、市内の鉄道は2駅とも利用者が増加傾向となっていますが、人口が減少傾向にある中でこの2駅が増加傾向にあることについて、理由があれば教えてほしいです。</p>
委員	<p>江南市は、地方都市には珍しく駅周辺に高校が4校あります。市内から通う生徒は大抵自転車で通うと思いますが、市外から通う生</p>

	<p>徒は鉄道を利用し、江南駅や布袋駅で降りて通うため、朝は駅が学生でいっぱいです。4校あるので生徒数が大体4,000人で、半分ぐらいとして学生だけで2,000人ぐらいは利用しているのではないかと思います。</p>
事務局	<p>布袋駅については、鉄道高架化事業の関係で区画整理や道路の整備を行っており、利便性が高くなってきていることは考えられます。江南駅については、現在大きな整備を行っていないので増加した原因については不明です。</p>
委員	<p>名鉄バスの江南周辺をカバーしている路線は近年好調です。社会全体でも景気が良くなり、人の流れが良くなったことが影響していると思います。</p> <p>しかし、人口減少の影響で通学での利用者は、名鉄バス全線で若干減少傾向にあり、鉄道についても同じような傾向であります。鉄道についてはバスに比べて、全線において更に好調である状況です。トヨタ系が好調であり、そこから波及して全体的に流れが良くなっているのではないかと思います。</p>
委員	<p>今回出した課題等については、都市計画マスタープランが完成してから、これらに向けて実施していくということですか。または、できるものについてはもう手をつけていくということですか。予算の問題もあるでしょうし、完成を待っているのは棚上げされてしまう可能性もあります。</p> <p>また、この計画に載っていれば市が区などに支援をするということになる部分はありますか。</p>
事務局	<p>都市計画マスタープランとは20年後の都市を見据えた中で、10年後の都市のあるべき姿を想像して作成していくものになります。いわゆる都市づくりの方針のようなものです。今回は課題までを整理し、次回以降に検討した方針をお示ししていきたいと思っています。</p> <p>また、市からの具体的な支援については、都市計画マスタープランでは整理しにくいと思っています。</p>
委員	<p>もし住宅地の中に一定の広さの耕作放棄農地があれば、そこを整地して近くの人たちが集まって運動する場所ができると思います。区単位ではなかなか動けない部分もあります。</p> <p>そういう場所を有効活用できるように、市の協力をいただきたい。</p>
事務局	<p>中部より南側については公園も広場も少ない状況ですので、地区の配置状況なども見て検討していきたいと思っています。</p>
会長	<p>行政が計画を作成したものの、PTAの方や区などの意向を上手く計画に反映することができていないというのも現状です。区の要望なども計画へ反映してもらえるように検討してください。</p>
委員	<p>緑の課題の、「まもる」という部分で、都市環境を形成する農地の</p>

	<p>保全と項目を立てていますが、市民による自主的な体験農園や、農地として使えない所を市民農園などへ活用するなど、なるべく維持できるようにしてほしいです。</p> <p>また、「いかす」について、地域の環境やニーズに応じた既存公園の再生と活用と記載がありますが、活用よりも利活用というイメージで、そのような空間でイベントを開催したり、市民の活動の場として使ったりし、いろいろなニーズに応じた使い方を考えて、にぎわいにも交流にもなるような活かし方をしてほしいです。</p>
委員	<p>雨が降ると住宅が浸水する地域もあり、まちづくりの中に水害対策を大きく入れてほしい。江南市や一宮市などは水をうまくコントロールすることが必要で、1つの大きな課題の柱として捉えてほしいです。浸水する地域があるということが江南市の課題として捉えてほしいです。</p>
事務局	<p>「住む」の課題の中で安心安全な居住環境の提供と記載がありますが、治水の関係になりますと、江南市総合治水計画というものがあります。方針を都市計画マスタープランに書き入れることは可能かもしれませんが、詳細については江南市総合治水計画の中で位置づけています。</p>
委員	<p>今後の高齢社会の状況を踏まえ、ある程度の人口密度を確保し、低密度化は解消していくという認識ですが、鉄道駅やバス停付近などの便利な場所に施設を集めていく中で、布袋駅が鉄道高架を行っており、布袋駅西側については布袋南部土地区画整理、東側は市街化調整区域になっています。</p> <p>「交流する」特性に「整備が進められている布袋駅周辺の鉄道高架事業に合わせ、効果的な交流空間の創出が考えられる」とあります。交流する場所があり、その周辺に人の住む場所があるということを考えていくと思いますが、そのような点を「住む」の課題の中にも記載すると、今後いろんな展開もしやすいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>「住む」に関する課題の1つで、「利便性の高い魅力的な地域への居住の誘導」があります。布袋駅東側の地区というのは駅舎も新しくなり、魅力的な地域に入ってくると思っています。</p> <p>布袋駅東側は市街化区域を今後拡大していきたいと思っておりますので、その内容を加味した表現に修正したいと思います。</p>
会長	<p>現行の都市計画マスタープランでは江南駅が主要な核で、厚生病院、布袋駅がサブ核という形となっています。交通の問題は徐々に緩和されてきていますが、江南駅の発展性を考えていかないといけないと思っております。</p> <p>布袋駅東側の市街化調整区域も区域変更していくことについては随時計画されてきていると思っておりますが、駅と駅との連携やその間の</p>

	<p>活性化、都市再開発もこの課題の中に取り入れ、江南駅から布袋駅の地域が活性化していくと、もう少し変わっていくのではないかと思います。</p>
オブザーバー	<p>都市計画マスタープランと立地適正化計画は密接に関わっています。緑の基本計画についても、現在生産緑地の関係が大きく動いています。土地利用をどう考えていくかが前提になる中で、同時に計画を考えるというのは非常に効果的だと思います。</p> <p>立地適正化計画については、国土交通省が作成の手引きを公表しており、特に重要としているのがターゲットとストーリーです。ターゲットというのはどのようなまちを目指すか、ストーリーというのはそれをどのように実現していくかというものです。それらをしっかりと検討してほしいと思います。立地適正化計画というと、線引きやどのような施設を選択するかということに注視しがちですが、その前提としてターゲットをしっかりと検討してほしいと思っています。</p> <p>また、先ほど市外から通学する学生が多いとの話がありました。これらの計画は市町村単位で作成しますが、周辺の市町の状況を把握して、情報共有をされるのも有効ではないかと思います。立地適正化計画の場合、名古屋市や小牧市などが作成作業をしていますので、すでに情報共有されているかもしれませんが、そのような視点で作成を進めていただければと思います。</p>

3 その他

- ・事務局より、今後の予定について説明を行った。

以上